

くむらぐも



地震に備えましょう

4月14日から起こった、九州熊本の地震の様子が、連日テレビのニュースで、流れています。くずれた家の中に閉じ込められた人たちの救出の様子を見るにつけて、地震の大変さが伝わってきました。

東日本大震災では、津波の怖さを、阪神淡路大震災では、火災の怖さを、今回の熊本の地震では、地盤の弱さによる崩落や家屋倒壊の被害の怖さと言う具合に、地震の起きた場所や状況によって、さまざまな怖さがあります。

私たちの住んでいるこの師崎でも、地震や災害に対する備えは大切です。

災害時には、まず、自分の命を守ることがたいせつです。そして次に大切なことは、隣近所、互いに助け合うということです。

また、スーパーのレジで、きちんと順番を待つ様子や、生き埋めになった人を必死に助け出そうとする人たちの様子もニュースの中で見ました。

地震は怖いけれど、日本人のもつすばらしい点も見逃せません。ご近所さんの人と人のつながりを大切にしたい。日本人らしさを大切にしたいと思いました。

離任式がありました(4/20)

長い間、本校の児童のためにご尽力いただき、ありがとうございました！どうぞ新天地でも、お体を大切にして、ご活躍ください！



1年生を迎える会(4/21)

どうぞ、よろしくお願ひします。



各学年の心のこもった出し物で歓迎しました

自転車訓練・歩行訓練(4/22)

教えていただいた正しい歩き方、自転車の乗り方を守って、安全に通行しましょう。



駐在さんと交通指導員さんにご指導いただいた後、訓練を開始！

なかよしグループ

こんにちは集会(4/27)

心を込めて描いた名刺を交換しながら、自己紹介しました。



よろしくね！



4/25の朝会講話より

言葉を大切に使いましょう

4月のはじめには、きれいな花を付けていた桜の木もすっかり緑色になってきました。山の緑も豊かになってきました。

ところで、この緑色の仲間の色には、多くの種類があつていろいろな名前が付けられていることをご存じですか？

インターネットって便利ですよ、こんなことも調べられるのです。私の見たサイトでは、22種類ありました。

私の好きな色に、萌黄（もえぎ）という色があります。春になって、草木の芽が燃え出すときの黄緑色を言います。他には、若草色とか、松葉色、青竹、老竹、中には利休などという色もあつて、これはお抹茶の色ですよ。

日本人の緑色に対する感じ方の豊かさを感じます。

この他に、俳句の季語で、「山笑う」という言葉があります。「山笑う」これは、春になり、山々の木々が一斉に葉を広げていく様が、まるで、山が笑っているかのような明るい感じを伝えてくれるので、そう表現するのです。これもおもしろい表現だと思います。

このように、緑色の呼び名や、俳句の季語などに見られるように、日本人がいか言葉大切にしているのかが分かりますね。

お互いに、同じ日本人として、言葉を大切に扱える人になりたいですね。